

# 第5学年社会科学学習指導案

指導者 松本 一純

## I 単元名 食料生産を支える人々 農業のさかんな地域をたずねて

### II 単元の指導構想

#### 1 学習指導要領に示されている指導目標及び内容

本単元は、学習指導要領第5学年の目標（2）と内容（2）に準拠して設定したものである。

##### ○目標

- (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

##### ○内容

- (2) 我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。
  - ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には、外国から輸入しているものがあること。
  - イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など
  - ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

#### 2 単元について

教材について	単元の目標	目指す子どもの姿
<p>我が国の食料は、国内で生産しているものもあるが、外国の輸入に頼っているものも少なくない。また、現在、外国との貿易により新たに輸入を迫られている農作物もあり、我が国の食料生産に大きな影響を与えている。</p> <p>本単元は、わたしたちが健康に社会生活を営む上で欠かすことのできない食生活の基盤ともいえる農業について学習する。特に、自給率が94%を超え、我が国の食料生産を支えている稲作がさかんに行われている新潟県について取り上げる。</p> <p>我が国の米の生産を通して、子どもたちは、稲作農業が我が国の食料生産を支えていること、また、それに従事している人々が多くの工夫や努力したり、自然環境を生かしたりしながら生産性を高めていることを理解していく。そして、それらをもとに、我が国の食料生産の発展を子どもたち一人一人が自分ごととしてとらえ、今後の国民の食料の確保について考えようとする態度を養うことを主なねらいとしている。</p> <p>誰もが毎日口にする「米」は、子どもたち一人一人の身近な教材である。そのため、子どもたちは、生産されるまでの工夫や努力、米の生産量や従事している人々の減少について切実感をもって学習を進めることができると考える。</p> <p>子どもたちが自分の食生活と向き合ったり、稲作農家や我が国の食料生産について調べたり、友達と現在と将来の食料生産について意見を交流したりすることで、多面的にとらえたり、多角的に考えたりするきっかけとなり、よりよい社会の形成に参画しようとする資質や能力の基礎を育むことができると考える。</p>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の米の生産の様子に関心を持ち、それを意欲的に調べ、国民の食生活を支える我が国の農業の発展を考えようとしている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の米の生産は、自然環境や国民生活と深くかかわっていることについて考えたり、これからの米の生産のあり方について現状をもとに考えたりし、それらを適切に表現することができる。</li> </ul> <p><b>【資料活用の技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の米の生産の様子を調査したり、体験したりするとともに、米の生産に関する資料を収集・選択し、それらから必要な情報を読み取ったり、根拠や解釈を示しながらまとめたりすることができる。</li> </ul> <p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の米の生産は、国民の食生活を支える重要な役割を果たしていること、自然環境と深いかかわりをもって営まれていること、また、米の生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の食生活を支えている米の生産について関心を持ち、意欲的に追究する子ども。</li> <li>我が国の米の生産における現状を理解し、それらをもとに今後の農業の発展について意欲的に思考する子ども。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土の地形や気候などの自然環境、米の生産に従事している人々の工夫や努力など、調べたことを相互に関連付けて考え、調べたことをもとに我が国の米の生産の特色について表現することができる子ども。</li> <li>我が国の米の生産の特色や現状、課題などをもとに、今後の米の生産の在り方について根拠を明確にしながらい見を伝えることができる子ども。</li> </ul> <p><b>【資料活用の技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の米の生産についての様子を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったり根拠や解釈を示しながらまとめたりしている子ども。</li> </ul> <p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の米の生産は、国民の食生活を支えていること、我が国の自然環境や従事している人々の工夫や努力を生かしながら生産性を高めてきていることなどを相互に関連付けることで理解を深められる子ども。</li> </ul>

## ＜復興教育（3つの教育的価値）との関連＞

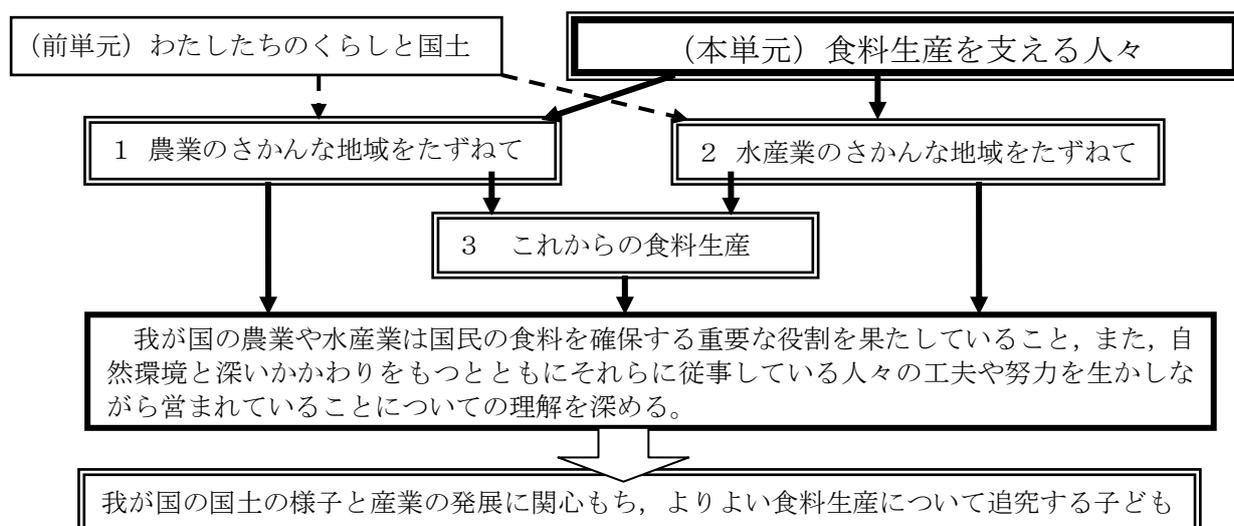
### 1 生命や心について【いきる】 「②自然と共存」との関わり

人間は、社会生活を営む上で国土の地形や気候など自然環境と大きくかかわりながら生活していることをとらえるとともに、自然からの恩恵を受けることで社会生活を維持することができていることに気づき、自然と共に生きることの大切さを感じる。

### 2 人や地域について【かかわる】 「⑨仲間や地域の人々とのつながり」との関わり

米の生産は、国土の自然環境やそれらに従事している人々の工夫や努力を生かして行われているとともに、我が国の食料生産の中心として食料を支えるという大きな役割を果たしていることを理解する。そして、それらをもとに我が国の持続可能なよりよい食料生産の在り方について意見や意思を交流し合う。そのとき、農業に従事している人々の思いや願いを共有するとともに、一人一人が農業にかかわる社会的事象を多面的に捉えたり多角的に考えたりすることにより自分の意思をしっかりと持ち、様々な立場の仲間との交流を通して、よりよいものへと淘汰されながらも、互いのよさを共有する大切さを感じる。

## 3 学習の系統（関連と発展）



## 4 指導計画及び評価計画

### (1) 評価規準

観点	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	① 我が国の稲作農業や様々な食料生産の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。 ② 我が国の食料を支えている稲作農業に従事している人々の思いや願いを知り、米づくりのよさや大切さについて意欲的に考えている。	① 我が国の稲作農業、様々な食料生産の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ② 我が国の食料を支えている稲作農業が、自然環境とそれらに従事する人々の工夫や努力を生かしながら営まれていることをもとに、これからの我が国の米づくりについて考え、それらを適切に表現している。	① 地図や地球儀、統計などの資料を活用して、我が国の稲作農業の様子や問題点などについて必要な情報を集め、読み取っている。 ② 我が国の稲作農業の様子や様々な食料生産について調べたことを白地図や作品カードなどにまとめている。	① 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあることについて理解している。 ② 食料生産に従事している人々の工夫や努力を理解している。 ③ 生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。 ④ 我が国の稲作農業は、諸問題を抱えながらも、国民の食料を確保するために、思いや願いを持って米づくりに携わっていることを理解している。

(2) 学習内容の構造図

【 食料生産を支える人々 ―農業のさかんな地域をたずねて― 】

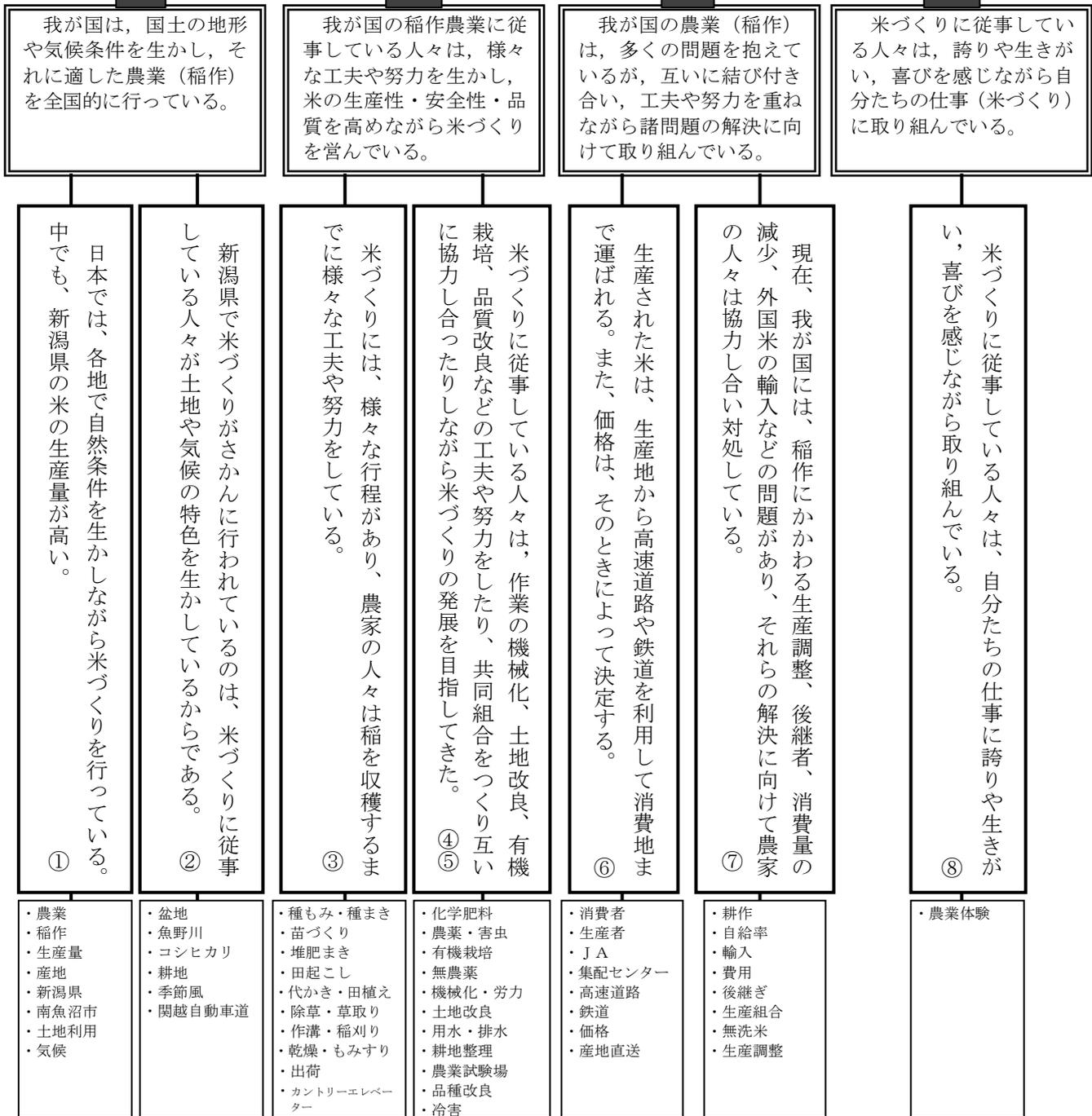
〔学習指導要領の「内容」との関連〕

○内容 (2)

- ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には、外国から輸入しているものがあること。
- イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など
- ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

〔全体を通して分かること〕

稲作が盛んな地域の人々は、国民の食料を確保する重要な役割を果たしており、それらに従事している人々は、自然環境と深くかかわりそれらを生かすとともに、生産性や安全性を高める工夫や努力をしながら稲作農業を営んでいる。我が国の食料生産が、これから、稲作農業がどのように行われていくことが望ましいのかを一人一人が考えていくことが必要である。



(3) 指導計画 (全9時間)

過程	時	主な学習活動	価値判断・意思決定とのかかわり	指導上の留意点・評価方法(※)・【評価規準】
オリエンテーション	1	<p>① 学校給食の献立調べをして、給食が様々な食材から作られていることをつかむ。</p> <p>わたしたちが食べるものは、どこで、どのように作られているのだろう。</p> <p>② 写真を見て、それぞれの食材を生産している様子について話し合う。</p> <p>③ 食べ物の産地や生産の様子について調べる方法について話し合う。</p> <p>④ 食べ物の産地や生産の様子を調べる。</p>	<p>○ 「日本の食料生産に興味や関心をもたせる」ために、日本で消費されている食べ物調べを通して、「わたしたちが生活の中で食べているものには日本で生産されているものと外国から輸入しているものがある」ことをとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食では多様な食材が使われていることに着目させ、それらの食材の産地や生産方法について問うことにより、学習問題の設定につなげるようにする。</li> <li>写真の内容から、生産物だけでなく、周辺の様子や施設、機械、作業の様子、生産者の服装などについて話し合わせる。</li> <li>これまでの学習や家庭での買い物の経験を想起させ、追究の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul> <p>※ 活動の様子や発言の様子から、「食材の産地や生産の様子について関心をもち、調べる見通しを立てているか」を評価する。</p> <p>【関①・知①→発言、ノート】</p>
問題の把握	1	<p>① 米袋を観察しながら、書かれていることについて話し合う。</p> <p>② 都道府県別の米の生産量を調べ、東北・北陸・北海道での生産量が多いことをとらえる。</p> <p>米づくりについて調べる計画を立てよう。</p> <p>③ 稲作について、どのようなことを、どんな方法で調べるのか学習計画を立てる。</p>	<p>○ 「米づくりが盛んに行われている地域にはどのような特色があるのか」を追究していくために、県別の米の生産量を調べることにより「熱い地域で始まった米づくりが東北地方の日本海側や新潟県で生産量が高い」ことをとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白地図を準備し、米の産地がどの都道府県かを記入しながら生産地を確認する。</li> <li>統計資料と集めた米袋の産地を関連させ、米づくりがさかんな地域について具体的にとらえることができるようにする。</li> <li>調べる内容や調べる方法は、板書で整理し、単元の追究の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul> <p>※ 活動の様子や発言の様子から、「稲作について調べる学習計画を立てることができたのか」を評価する。</p> <p>【思①→発言、ノート】</p>
	1	<p>① 南魚沼市の航空写真をもとに、南魚沼市がどのようなところなのかを話し合う。</p> <p>② 南魚沼市の農業生産額で米が多いことから、南魚沼市で米づくりがさかんなわけについて追究する学習問題を設定する。</p> <p>南魚沼市で米づくりがさかんなのはなぜだろう。</p> <p>③ 地図やグラフを読み取り、南魚沼市の土地や気候の特色について調べる。</p> <p>④ 南魚沼市で米づくりがさかんなわけについてまとめる。</p>	<p>○ 「新潟県南魚沼市で米づくりが盛んに行われている理由」を考えさせるために、地図やグラフなどを活用して「南魚沼市の気候(気候条件)・地形(土地条件)の特色」についてとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田が広がっていることや山に囲まれていること、川が流れていることなどに着目させ、南魚沼市の自然条件をとらえさせる。</li> <li>稲作が水田を利用して行われ、そのため、水の質と量が重要であることに触れる。</li> <li>土地や気候の条件が米づくりに適していることをまとめることができるようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの様子から、「調べた土地や気候条件から、南魚沼市で米づくりがさかんなわけについて考えているか」を評価する。</p> <p>【技①→発言、ノート】</p>
問題の追究	1	<p>① 所有する田の面積や育てている作物など、米づくり農家の様子について調べる。</p> <p>米づくり農家では、どのようにして米を育てているのだろう。</p> <p>② 米づくり農家の話をもとに、米づくりの1年の仕事について調べ、ノートにまとめる。</p> <p>③ 米づくり農家が気を付けていることをまとめ、米づくりに大切な条件を考える。</p>	<p>○ 「米づくりが盛んに行われている地域の米づくりに適した環境の条件」について考えさせるために、年間カレンダーや農家の人々の話を通して「米づくりに従事している人々の年間を通しての仕事内容、および工夫や努力」をとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所有する農業機械などについてもふれ、米づくりの様子について関心を高め、学習問題の設定につなげる。</li> <li>写真を提示しながら、1年間の仕事の流れの概要をとらえることができるようにする。</li> <li>3つの条件をもとに、米づくりは、自然や稲を育てる環境が大きく影響することや稲がよく成長するように世話をすることが大切であることに気付くことができるようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの内容から、「米づくりに対する自然や稲を育てる環境の影響について考えているか」を評価する。</p> <p>【技②→発言、ノート、カード】</p>
	1	<p>① 「稲作カレンダー」を見て、稲の成長の様子と米づくりの仕事の手順について確かめる。</p> <p>② グラフから、10a当たりの米の生産量の変化について読み取る。</p> <p>③ 10a当たりの米の生産量が増えてきた理由を予想し合う。</p> <p>米づくり農家の人々は、米をつくるためにどのような工夫や努力しているのだろう。</p> <p>④ 予想をもとに米づくり農家が行っている工夫や努力を観点別に分け、観点に沿って調べる。</p>	<p>○ 「年々、単位面積あたりの米の生産量が高まっている理由」を考えさせるために、「米づくりに従事している人々が土地改良や機械化、協力体制を整えるなどの工夫や努力をしている」ことをとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1aの広さを説明するとともに、縦軸や横軸が表しているものを確かめるなど、グラフの見方をおさえるようにする。</li> <li>米づくりに大切な条件を想起させるとともに、根拠を明らかにして米の生産量が増えてきた理由について予想できるようにする。</li> <li>予想は板書で整理し、次時の追究に見通しをもつことができるようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの様子から、「米の生産量が高まったことをもとに、米づくり農家の工夫や努力に着目し、それらをノートにまとめているのかについて」を評価する。</p> <p>【知②→発言、ノート、カード】</p>
	1	<p>米づくり農家の人々は、米をつくるためにどのような工夫や努力をしているのだろう。</p> <p>① 米づくり農家が行っている工夫や努力を調べる。</p> <p>② 調べたことをまとめ、発表し合い、生産性や安全性、品質を高めるための工夫についてまとめる。</p>	<p>○ 「米づくり農家が行っている米の安全性や品質の向上に向けての工夫や努力について」考えさせるために、「有機栽培や減農薬、品種改良などの取組」についてとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学肥料や農薬、機械化については、その長所や短所をとらえることができるようにする。</li> <li>土地改良については、土地改良以前の米づくりと現在の米づくりの様子を比較してとらえることができるようにする。</li> <li>品種改良については、優れた品種をどのようにして作ってきたか、その努力についてとらえることができるようにする。</li> </ul> <p>※ 発表やノートの様子から、「生産性・安全性・品質を高めるための米づくりの工夫や努力について調べ、ノートにまとめているのかについて」を評価する。</p> <p>【知②→発言、ノート】</p>

問題の追究	1	<p>① 収穫された米は、生産者から消費者までどのような経路で届けられているのかを話し合う。</p> <p>米は、どのようにしてわたしたちに届けられているのだろう。</p> <p>② 資料から、米の流通経路について調べ、様々な経路でわたしたちの手に米が届けられていることをとらえる。</p> <p>③ 米の販売価格の決まり方について調べる。</p>	<p>○ 「米の流通経路が経済や価格に大きく影響を与えること」を考えさせるために、米が生産者から消費者に届けられるまでにどのような経路をたどるのかを調べる活動を通して、「様々な経路があることやそこに多くの人々が携わっている」ことをつかませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収穫されたお米が生産者から消費者に届けられるまでの様子調べ、運輸の働きが重要であることに気付かせる。</li> <li>・ 生産者から消費者に届けられるまでには、様々な経路があることに気付かせる。</li> <li>・ 写真資料をもとに、価格の決定には様々な方法があることに気付かせるようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの様子から、「生産地と消費地を結ぶ運輸の働きや価格が決定するまでの経緯について理解しているのか」を評価する。 【知③→発言、ノート】</p>
	1	<p>① 米の生産量のグラフを読み取り、米の生産量が減っている理由について追究する学習問題を設定する。</p> <p>米の生産量がへっているのはなぜだろう。</p> <p>② 各種資料から米の生産量が減ってきている理由について調べ、我が国の稲作の現状についてとらえる。</p> <p>③ 日本の稲作の問題や稲作農家の悩みについて話し合う。</p> <p>④ 生産を高めるための農家の新しい取り組みについて調べる。</p>	<p>○ 「日本の米づくり農家が抱えている問題の現状と解決策」について考えるために、「生産調整、消費量の低下、後継者問題などの課題や問題とそれらの背景」についてとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の「学習のてびき」を活用して、グラフの読み取り方を確かめるようにする。</li> <li>・ 一つ一つのグラフを読み取りながら、その変化と米の生産量の減少との関連について考えることができるようにする。</li> <li>・ それぞれの取り組みが何のために行われているのか、稲作農家のどの悩みに対応したものなのかについて確かめるようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの様子から、「日本の稲作が抱える問題とそれを解決しようとする農家の取り組みについて理解しているのか」を評価する。 【知④→発言、ノート】</p>
まとめ	1	<p>① 米づくり農家の人々が稲を収穫しているとき写真を見て、農家の人々の気持ちについて話し合う。</p> <p>米づくり農家の人々は、どのような思いや願いをもって米づくりを行っているのだろう。</p> <p>② 米づくり農家の人々の喜び、米づくりにかける思いや願いについて調べる。</p> <p>③ 農業の魅力や米づくりの大切さについて考える。</p>	<p>○ 諸問題を抱えながら米づくりに誇りや希望をもって打ち込んでいる米づくり農家の人々の思いを考えるために、米づくり農家の人々が展開している活動やそれらに込めた思いについてとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲作農家の見学も想起させながら、稲作農家の人々の仕事の喜びについて関心を高めることができるようにする。</li> <li>・ 3人の稲作農家の人の話を読みとったり、3人の考えをくらべたりしながら、稲作の喜びや稲作に対する思いや熱意についてとらえることができるようにする。</li> <li>・ 悩みをもちながらも、稲作を続けたり始めたりするのはなぜか、そのわけについて考えることができるようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの様子から、「米づくり農家の人々の思いや願いから、稲作の仕事のよさや米づくりの仕事の大切さについて考えているのか」を評価する。 【関②→発言、ノート】</p>
	1 (本時)	<p>① これまでの学習についてふり返る。</p> <p>② 日本の米づくりのあり方について考える。</p> <p>日本の米づくりを守るために、わたしたちにはどのようなことができるのだろう。</p> <p>③ 資料などの根拠をもとに、これからの日本の米づくりのあり方について考えたことを交流し、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○ 「日本の米づくりを守っていくための持続可能な取り組み」について考えることができるように、「現在行われている米づくり農家の工夫や努力、関係諸機関との連携、消費者の取り組みなどの実態」をとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元を通して学習してきた米づくり農家の人々の営みや日常生活の中で獲得してきた知識をもとに、我が国の食料生産を支えている米づくりのこれからについて考える。</li> <li>・ 実生活と結び付け、根拠をもとに思考させたり、持続可能かつ現実的な取組という視点を与えたりすることで、一般的な理想にとどまることのないようにする。</li> </ul> <p>※ 発言やノートの様子から、「これまでの学習内容や生活経験の情報などを生かしながら、これからの日本の米づくりのあり方について根拠をもとにしながら考えているのか」を評価する。 【思②→発言、ノート】</p>

### Ⅲ 本時の授業構想

#### 1 本時の指導

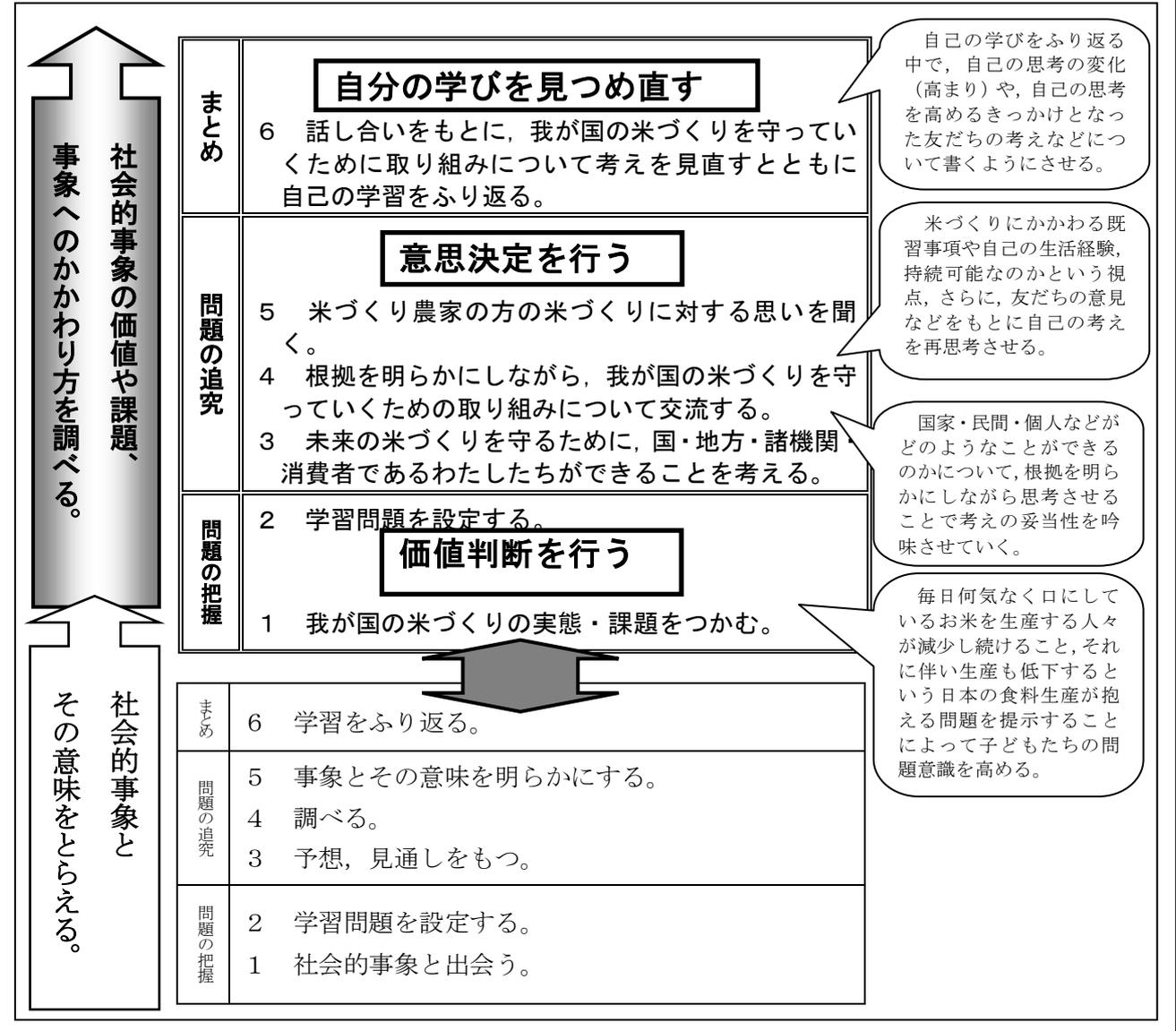
##### ◆子ども像

### 社会とのよりよいかかわり方を考える子ども

とらえた社会的事象とその意味をもとに、自分たちの生活や社会の向上・発展を目指して、事象に対する態度や行動を明らかにしていく子ども

##### ◆授業像

単元の後半においてとらえた社会的事象がもつ価値や課題、事象へかかわり方についての話し合いを通して、事象に対してとるべき態度や行動を明らかにしていく授業



#### 2 目標

我が国の米づくりを守るためにわたしたちに何ができるのかについて考えることができる。

#### 3 評価規準

評価の観点	評価方法と評価規準	期待する記述例・子どもの姿	努力を要する子どもへの手立て
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表やノートの記述内容から、『これまでの学習内容や生活経験の情報などを生かし、これからの日本の米づくりを守るためにどのようなことができるのかについて根拠を示しながら考えているのか』を評価する。【思-②】</li> </ul>	<p>※ 現在の我が国の稲作農業の現状を理解するとともに、自分の社会生活と照らし合わせながら、日本の米づくりを守り、さらなる発展を考えている子ども。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の生産量が減少している背景、米づくり農家の願いや思いを確認し、国家・県・農業団体・自分という様々な立場でできることはないのかを考えさせる。</li> </ul>

4 展開

段階	学習活動と学習内容	分	◆研究に関わる具体的な手立てや支援 ※評価	資料
問題の把握	<p>1 米の生産量と消費量、農業従事者が減少している傾向を確認することにより、これからの日本の米づくりの問題点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の米の消費量は年々落ちてきているからもっと農家の人々は困るのではないか。</li> <li>今は、外国から米の輸入も迫られてきているから大変になるのかな。</li> <li>農業に従事している人々の高齢化が進んでいるのでこのままだったら日本の米づくりは…。</li> </ul> <p>2 学習問題を設定する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">日本の米づくりを守るために、わたしたちにはどんなことができるだろう。</div>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の生産量や消費量の減少、農業従事者の高齢化などの問題点をきっかけに、このままではこれまで受け継がれてきた我が国の米づくりが衰退し、米の確保が難しくなっていくという問題意識を高める。</li> <li>話し合いの中で、米づくりが日本の食料生産において大きく貢献していること、環境を守ることにつながっていること、我が国の文化と強く結び付いていることなどをおさえることで、子どもたちの問題解決への意欲を高められるようにしていく。</li> </ul>	<p>○資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米の消費量の推移</li> <li>米の生産量の推移</li> <li>農業従事者の推移と年齢層の割合</li> </ul>
問題の追究	<p>3 自分たちにできることを考える。</p> <p>【消費活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お米を食べることで米の消費を増やす。</li> </ul> <p>【農業従事者の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農家が減ってきているので、農家を増やせばいいと思う。</li> </ul> <p>【農業の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業体験に参加して、農業の楽しみをもっと知ればいいと思う。</li> </ul> <p>【国の政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国が生産調整をやめて生産量を増やす。</li> <li>米の輸入をやめる。</li> </ul> <p>4 我が国の米づくりを守っていくための取り組みについて話し合う。</p> <p>【米の消費量の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米の消費を増やせばいいと思う。</li> <li>米ばかり食べているとぼくは飽きるな。少し続けるのは難しそう…。</li> <li>パンで米粉を使うと、米づくり農家もパン屋さんもどちらも喜ぶのではないか。</li> </ul> <p>【生産者と会社との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米の粉を活かした商品を開発するとよいと思う。米粉パンを給食で食べる。</li> </ul> <p>【消費者と生産者の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業体験をして、もっと農業のよさを知ると米づくりの興味をもつと思う。</li> </ul> <p>【政府の政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米づくり農家にお金を支給すれば、機械や薬を買う負担が少なくなると思う。</li> </ul> <p>5 米づくり農家の方のお話を聞く。</p>	10分  15分  5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・地方・農業団体・企業・家族・自分など、取り組む主体が誰であるのかを明確にし、その上で自己の考えをもたせるようにする。さらに、考えの拠りどころとなる根拠を明確にしなからそれぞれの考えを記述できるようにする。</li> <li>個々の考えの根拠・考えの弱さや曖昧さについては、話し合いを通して補い合うようにするとともに、米づくりに対する個々の考えや社会的事象の意味を深められるようにしていく。</li> <li>話し合いでは、既習事項や資料に立ち返ることにより、現実的な取り組みなのか、持続できる取り組みなのかなどの視点で吟味し、理想のみの話し合いに終わらないようにする。</li> <li>子どもたちの考えを分類し黒板に整理することで、終末におけるまとめにつなげていく。</li> <li>◆自分と友だちとの考え比べ、より現実的で持続可能な取り組みであるかを吟味させ、よりよい考えを見出すことができるようにしていく。</li> <li>今現在、米づくり農家の方が米づくりを守るためにどのような取り組みをしているのか、また、どのような思いをもっているのかをVTRからとらえる。</li> </ul>	<p>○ノート</p> <p>○資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米の消費量</li> <li>米の加工品</li> <li>政府の取組</li> <li>農業体験 など</li> </ul> <p>○資料 (VTR)</p>
まとめ	<p>6 自己の考えを見つめ直し、我が国の米づくりを守るためにできることについてまとめる。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちとの話し合いや農家の方の話をもとに、自分の考えが妥当なのかを見つめ直し、よりよい方法へと思考することができるようにする。</li> <li>解決策に優劣を付けることを目的とするのではなく、子どもたち一人一人が我が国のこれからの米づくりを自分自身の問題として考えることを大切にしていく。</li> <li>自己の考えの変容とそのきっかけ、または友だちの考えのよさなどを含めながらまとめを記述させることによって、子どもたち一人一人の学びを振り返らせるようにする。</li> </ul> <p>※ 「これまでの学習内容や生活経験の情報などを生かし、これからの日本の米づくりを守るためにどのようなことができるのかについて根拠を示しながら考えている」のかを評価する。</p> <p style="text-align: right;">【思-②】</p>	